

「カナディアンロッキーとオーロラ 9 日間」を 8 月 27 日～9 月 4 日に行いました。

今夏は各地で記録的な猛暑に見舞われましたが、その暑い最中にカナディアンロッキーのハイキングとイエローナイフのオーロラ観賞へ。出発 4 日前の天気図は恰も台風 10 号が当日関東を直撃しそうな気圧配置。しかし、偏西風が平年に比べ北寄りに蛇行しているのか徐々に左に進路を変え、九州地方を中心に大きな被害をもたらしました。

所で、バンフ:北緯 51 度・標高 1300m、イエローナイフ:北緯 62 度・標高 200m、両地の緯度は 10 度ほど違いますがこの時期の気温は 8 度～15 度と同程度。晴れば暖かく、風が吹けば肌寒さを感じます。これから朝晩の冷え込みが増し 9 月 15 日ころから紅葉が始まります。

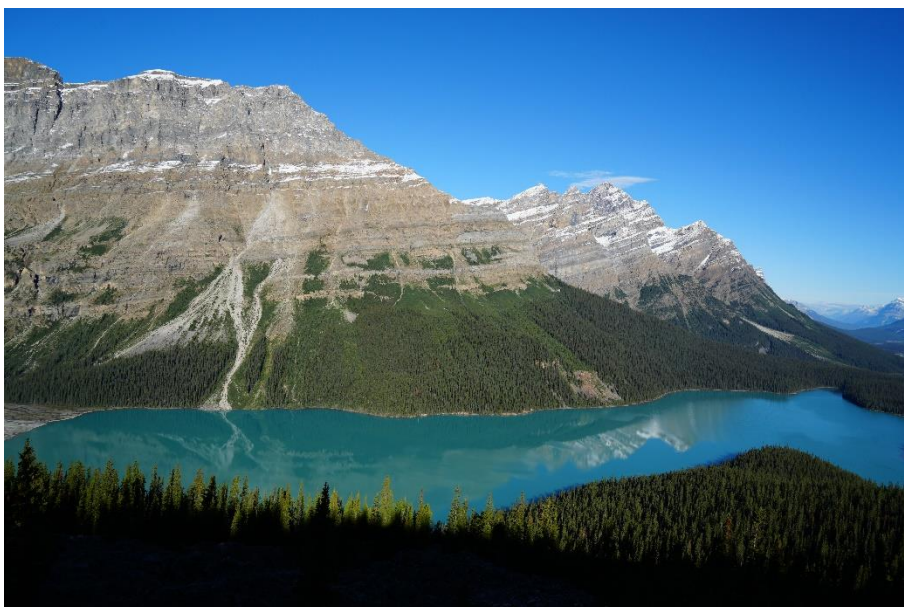


(晩夏のオーロラ 9 月 1 日)

○カナディアンロッキーハイキング

まだ夏の気配が残るカルガリーを出発し、国道1号を北上してバンフを過ぎ、最初の宿泊地レイクルーズへ。途中小雨が降っていましたが山裾をよく見れば新雪が！高緯度の地は夏でも雪が降るんです。8 月 28 日、肌寒い曇天の中をビッグビーファイブ方面へハイキング。8 月 29 日、快晴のペイトレイクを通り、パークリッジでハイキング、そしてコロンビア大氷原の雪上車観光。針葉樹林が作り出すカナディアンロッキーの山並みを楽しみました。8 月 30 日、モレーンレイクからセンチネルパスまでハイキング。テンピークス始め、これぞカナディアンロッキーの景色を堪能しました。

追記:バンフと並ぶ観光地のジャスパーは大規模な山火事により町の約 3 割が消失した模様です。ジャスパーに続く氷河ハイウエーもコロンビア大氷原から先は通行止め。これほどの山火事は驚きで、1日も早い復興を願うばかりです。



(ペイトレイク 8 月 29 日)



(インディアンペイントブラシ)



(ヤナギラン)



(新雪)



(アグネスレイク)



(エメラルドレイク)



(パーカーリッジ)



(モレーンレイク)



(ラーチバレー)



(センチネルパス)



○オーロラ鑑賞

8月31日、カナディアンロッキーのハイキングを終え、目指すはオーロラ鑑賞地のイエローナイフ。カルガリーで飲茶をいただき、イエローナイフ到着は18時過ぎ、天気快晴。ところが5時間後のオーロラ観賞は曇り空に変わり星は無く、結局殆どオーロラを見ることが出来ませんでした。この地の観光案内は「3夜の観賞で1度はオーロラが見られる」が謳い文句で明日に期待です。

9月1日、雲は多少有るものの日中は晴れ。今日からオーロラ鑑賞の出発時間が1時間早まり22時スタート。待ちに待った星のある夜空！キャビンで写真撮影の準備をしていると早くもオーロラ出現。裸眼で見るオーロラは殆どが白色で、それにほんのり緑や赤色が加わります。ところがカメラのレンズを通すと綺麗な色彩を放ちます。添付写真は9月1日に現れたオーロラ、夜空に浮かぶ大自然の芸術をご覧いただけてツアー主催者も一安心でした。

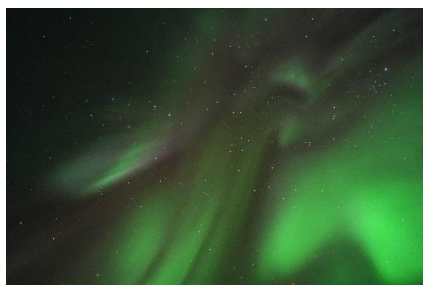
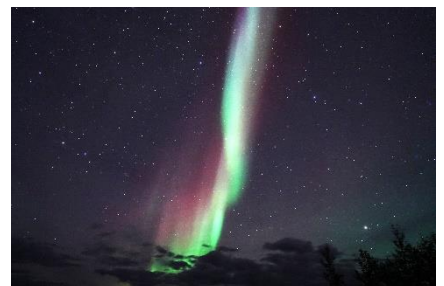
9月2日、オーロラ鑑賞最終日はボートクルーズとバーベキュー。夜空は曇りで微かにオーロラが見えるだけ。それでも北米で有名なアルバータビーフを食べて楽しい一時を過ごしました

☆イエローナイフの風景



(犬ぞり元世界チャンピオン グラント・ベックと)

☆9月1日に現れたオーロラ





(BBQ)

(9月2日オーロラ)



オーロラは冬と思われている方がおりますが、太陽から放出されるフレアは地球の四季など関係有りません。オーロラが見える見えないはその地の気象条件(晴天率)や夏季の白夜などで決まります。
なおイエローナイフの秋オーロラ観賞は湖面にオーロラが映るのでカメラマンには好評とか。

記 天溪 赤沼